

予算等審査特別委員会 12月13日~14日

予算等審査特別委員会(議長を除く21人の議員で構成、委員長菊池民彌議員、副委員長浅沼幸雄議員)は、条例12件、予算8件、その他2件の22議案について付託を受けて2日間の審議を行いました。

今定例会では、一般会計補正予算等が示され、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全22議案が原案のとおり可決されました。



活発な委員会審議が行われた。

どうなる遠野農業の将来

指定管理者制度について

【質問】 現在数箇所の施設を指定管理者に管理させているが、残りの施設はいつから管理させるのか。また管理者の選定方法は公募にするのか。

【答弁】 管理については平成19年4月実施に向けて検討中で、選定方法については公募も一つの方法として検討している。

【質問】 指定管理者に管理委託する際に、業務内容に

ついて詳細にわたった指示が必要と思われるが。

【答弁】 施設の管理仕様書等を示して業務を委託する考えである。

【質問】 事故等があった場合の責任はどうなるのか。

【答弁】 施設を設置した行政側にも行政責任はあることになる。指定管理者が仕様書どおりの管理体制を実施しているか行政側としても点検を実施していく。

スローライフ月間の行事設定について

【質問】 スローライフ月間で28もの行事が開催された。これらの行事が市議会議員選挙とダブリ、個人演説の会場にも影響が出た。この期間に、さまざまな行事を組んでいるために予定を変更しないで無視して進めたのではないか。

【答弁】 この期間の行事予定は前から組んでいた。全国規模の行事が重なったため、調整してダブらないように心がけていたが、迷惑をかけた部分もあった。今後事務事業評価の結果を踏まえて、事業の見直しを行い次年度に生かしていきたい。

品目横断的経営安定対策への対応は

【質問】 この政策は、家族経営が崩れることとも考えられるが、対策や支援が必要ではないか。

【答弁】 現在進行中の27集落を加入申請できる状態にし、モデル集落としたい。

【質問】 経理の一元化時期がはっきりする事により取り組みが積極化するのでは。いつまでに示せるか。

【答弁】 協議会のようなものを創り、経理の一元化をしたい。3月中にはシステムを構築させていきたい。

【質問】 認定農業者との間で農地の貸しはがしの不安があるが関わりについてはどうか。

【答弁】 担い手と一緒に進めていく方法をとる。

【質問】 集落リーダーを育てる事が必要。集落の状況に合ったシステムを創る人づくりが必要と考えるが。

【答弁】 コーディネーターと相談し育成に努めたい。



品目横断的経営安定対策が今後導入される。